

郷土館発

今年の夏、津具の里の史跡や文化財を訪ねてみませんか

夏に予定している史跡文化財巡りを紹介します。案内役は文化財保護審議員の方々です。小学生向きにも、年配の方々向きにも案内できるように計画しています。

今年は津具地区で行います。上津具の街通りに、

海にぬて

み山恋しといふ人に

つげばや津具の

林寝がたりと

と刻まれた歌碑があります。民俗学者柳田国男の歌です。柳田国男は二度津具を訪れ、「さゝやかなる昔」でこの歌を掲載し、津具の木地師のことも紹介しています。

木地師は、木製のお椀やお盆などを作ることを生業としていた人々です。その生活は、原木を求めて各地の山々を移動するため、定住することが困難でした。そうした木地師の住居跡が津具で発見され、家屋が復元されています。

武田信玄が発見した「津具金山」も有名です。金山の遺物や遺構も多く、「信玄坑」といわれる坑道も保存されています。民俗資料館には、金鉱石や鉱石を

摺りつぶした金摺石かなすりいし等も保存されています。

縄文時代の遺跡も数多く発見されています。住居跡が三つ保存され、竪穴式住居も復元されている「鞍舟遺跡」は、立地条件もわかりやすく、当時の様子を探りやすい所です。

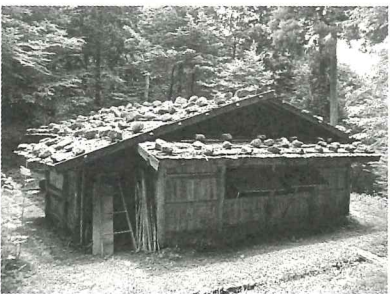
史跡文化財巡りの詳しい内容は、後日お知らせします。

ご参加をお待ちしています。

(奥三河郷土館 加藤 紘市)

※「さゝやかなる昔」は、定本柳田国男集第二十三巻(筑摩書房)に掲載されています。

木地師住居跡



鞍舟遺跡